

牛久：学校周辺に見る自然

第3号

ひたち野西隣公園

2012年4月30日発行

< 春の水鳥 >

春の生き物シリーズ。今回は3月から4月にかけて、ひたち野水辺公園で見かけた水鳥を、次号では他の場所も含め、牛久市内で見かけた陸鳥を紹介します。この時期は、一年中この地域にすむ留鳥（りゅうちょう）はもちろん、秋に北の国からやってきて日本で冬を越した冬鳥（ふゆどり）の一部と、春に南の国からやってきて日本で繁殖し夏を過ごす夏鳥（なつどり）の一部が重なって見られます。もちろん、すでに北に戻ってしまった冬鳥も、まだ日本にやっ^{もどって}てこない夏鳥もいるでしょうけど。



くちばしが幅広いハシビロガモ。もようの派手（はで）なのがオス。くちばしでプランクトンをこしとり食べる。左は4/13、右のオスは4/20。

まずは、ハシビロガモ。冬鳥ですが、4月中は、まだけっこう見られました。大きなくちばしが目立ちますが、ここの歯ブラシのような部分で、プランクトンをこし取って食べるそうです。



あまり目立たないもようのオカヨシガモ。オスのくちばしは黒く、メスでは黄色。あまり大群になることはなく、草の種子などを食べるそうです。左は3/27、右のメスは4/18。

続いて、オカヨシガモ。こちらも冬鳥ですが、4月中は見られました。昼間は草の種子^{しゅし}を食べたり休んだりしていますが、夜には活発になるそうです。



こちらは、何度も登場しているコガモ。向こう側の目立つもようをしているのがオスです。水辺公園では一番多く見かけた冬鳥で、これも4月いっぱいは見られました。数が多いからでしょうか、他の冬鳥よりも長期間にわたって見られるように思います。石につく藻（も）や、草の種子などを食べるそうです。

水辺公園では一番多く見かけ、長期間にわたって見られる冬鳥のコガモ。石につく藻や草の種子などを食べる。写真は3/27。



カイツブリ。3/7



カワウ。4/10 →



バン。4/10



オオバン。4/18



カルガモ。左：3/7，右：4/18。



アオサギ。3/7。



ダイサギ。4/18。

水辺公園では、4月までは夏鳥の水鳥は見られませんでした。それで、留鳥の仲間を写真だけのせ
ました。何度も出てきているので、解説ははぶきます。また、夏鳥として唯一見られたツバメは、陸
鳥にあたるので、次回に紹介したいと思います。

【理科支援員：宮内】